

くらサポ ニュース ^{NO.} 83

発行：地域福祉相談支援センター

2021/9/1

最近のサポート事例を紹介します



～くらしの困りごとをサポート（組合員）が助けます

ひとり暮らしの方からの、「入院中に庭のお花に水をあげて欲しい」と依頼がありました。以前はお知り合いの方にお願いしていたそうですが、お礼に悩んでしまったそうで、今回はくらサポに依頼したそうです。気兼ねなく頼めることはいいですね！（熊谷市）



100歳のお母様と同居している娘さんが入院することになりました。入院中、庭の水やりの依頼がありました。もともと、お母様が話し相手をくらサポで利用していました。コーディネーターさんと“お花好き”ということで気が合い、気心が知れていたため、娘の入院中の依頼も追加したそうです。（川越市）



体調が悪化し、食事が摂れず、動けなくなった方から「近所のスーパーで食べ物を買って来て欲しい」という依頼がありました。急な依頼にも、すぐに対応してもらえました。また、とても親切な対応だったと喜んでいただきました。くらサポがひとり暮らしの方の強い味方になることが出来ました。後日、お元気になられた依頼者の方からお礼の電話がありました。（所沢市）



産後1か月の母親から掃除、食事づくりの依頼がありました。義理のお母様がお手伝いに来てくれたのですが、ケガをしてしまい、お手伝いが出来なくなったそうです。直前まで、他のくらサポ利用者の産後お手伝いを行っていた、心強いサポーターさん達が交代で援助に入ることになりました。（富士見市）



お知らせ 夏季の草取りは熱中症の危険があるため原則7月～9月は行いません。よろしくお願いいたします。



くらしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。

 医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター / くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692